

64. 高齢者発信：認知症予防と豊かな終活にむけての取り組み

グループ名 ライフサポートセンターHAPPY
代表者 八反田 久実

① 活動の目的

高齢者の安心・安全な生活の実現にむけて、認知症予防、NK細胞の活性運動、終活計画の作成支援、相続セミナーを行う。

② 活動概要

○ 脳トレゲーム・歌謡体操・相続セミナーを組み合わせた「さわやかHAPPYセミナー」を、高齢者の集まる自治公民館で行い、受講者の健康の維持増進や終活に向けての意欲換機を行い、高齢者の外出意欲を高揚させ、引きこもりを防ぐ事にも役立たせています。

今回は、市内の中心部10箇所をまわって行いました。

③ 決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支出	講師謝金	円
	相続診断士 3,000×10回	30,000円
	パワーポイントシート作成	30,000円
	エンディングノート費用 400×100冊	40,000円
		円
		円
		円
		円
	合計	100,000円

活動の様子

①セミナーの様子

②新しくなったパワーポイントシートです。

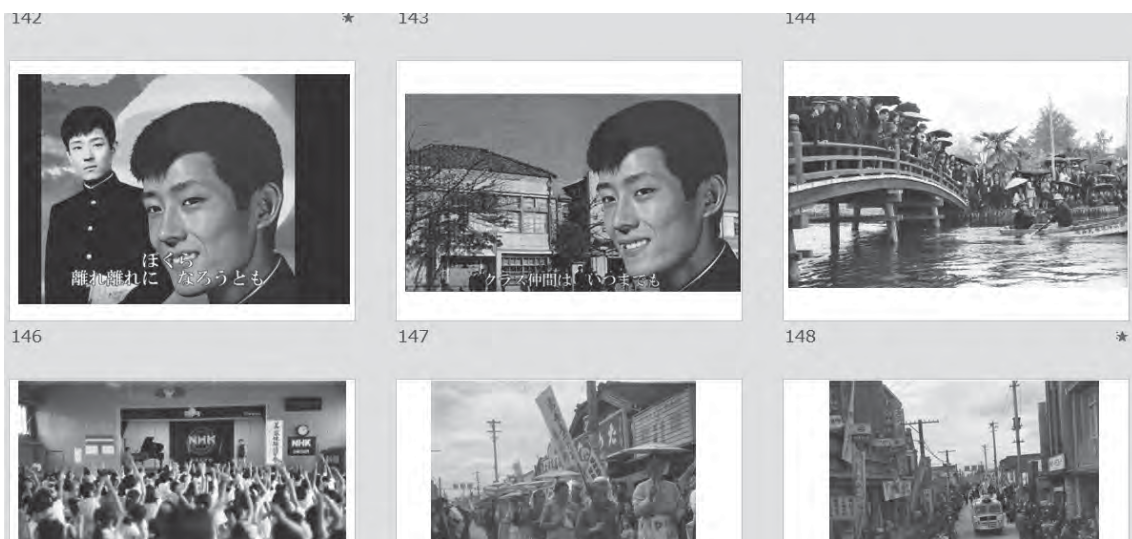
③お配りしたエンディングノートです。

①自治公民館をまわって、歌ったり体操したり学んだり、元気いっぱいセミナーです。
セミナーには、今回経常の診断士の外、税理士や歌の専門家も帯同してくれます



脳トレをしながら、皆さんとっても元気になって頂きます。
真剣になりながらも笑顔に包まれます。
声を出しながら身体を動かす、良い活動が出来ました。

② パワーポイントシートの刷新



新しく、歌謡体操を作ったり都城市古い写真をいれてもらったり、パワーポイントが一新すると共に内容も多彩になりました。

エンディングノート活用を推進する部分もいれてもらいました。



③ エンディングノートの配布のみならず、内容一新を図りました。

大勢の方に、エンディングノートを使って頂き、豊かな終活を支援させて頂きました。また、自宅の空家化対策にも有効に働きました。